

自分らしく生きるための「意思決定支援」を考える

2006年に国連で障害者の権利に関する条約が締結され、日本は2014年に批准しました。2022年8月に国連による日本政府に対する初回の審査が行われ、同年9月に成年後見制度などにおける代行決定への懸念が示されると同時に、支援付き意思決定の仕組みを確立するよう勧告がなされました。同勧告を踏まえ、「良かれと思って」周囲の人が本人の代わりに決めるのではなく、本人の「心からの希望や選好・価値観」に基づき本人自身が意思決定をし、それを尊重できる社会を目指していくためには、これまでとは別の支援の枠組みを作っていく必要があります。

このような背景を踏まえ、一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク(通称:SDM-Japan)は、2022年10月25日、豊田市及び日本財団と、障害者・認知症高齢者等の意思決定支援事業に関する連携協定を締結しました。

本事業は、障害者や認知症高齢者等で判断能力が十分ではないとされている人が、地域生活や社会参加を継続していくために自らの意思を形成、表明し、自分らしく生きていくための意思決定を支援する仕組みを構築・実践することを目指しています。

今回は、本事業の仕組みを紹介しつつ、実践状況を報告し、これからの日本の意思決定支援の仕組みと実践のあり方について考えるため、シンポジウムを開催します。

自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル事業



実践シンポジウム

令和5年2月19日(日) 13:00~17:00

会場 豊田市福祉センター(ホール) ※Zoom、YouTube ライブ配信中継あり

主催 一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク(SDM-Japan)

共催 豊田市・日本財団

対象者 成年後見制度や意思決定支援の動向に関心のある自治体、中核機関、社会福祉協議会、NPO/NGO 職員、これらの活動に携わる専門職、障害のある当事者・団体、市民 等

参加定員 ホール対面方式 100名まで(先着) ※新型コロナウイルス対策のため人数を制限しています。
オンライン方式 無制限

申込先 ① Web(右記QRコード)
② E-mail fukushi-sodan@city.toyota.aichi.jp (豊田市福祉総合相談課)



締切 令和5年2月13日(月) 締切 (会場参加者の申込は定員となり次第終了となります)

参加費 無料

意思

決定支援

Supported Decision-Making

問合せ

申込方法…豊田市福祉総合相談課 TEL 0565-34-6791

内容…SDM-Japan info@sdm-japan.net TEL 050-5534-4004

スケジュール

※タイトル・時間配分・登壇者については変更の可能性があります。

主催者あいさつ・趣旨説明（13:00～13:10）

13:00

主催者あいさつ・趣旨説明

『豊田市・SDM-Japan・日本財団が目指す意思決定支援の形とは？』

名川 勝（一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク（SDM-Japan）代表理事
筑波大学人間系講師）

第1部（13:10～14:30）

13:10

基調講演

『総合的な権利擁護支援策を充実する必要性とモデル事業の概要』

松崎俊久（厚生労働省社会・援護局地域福祉課成年後見制度利用促進室室長）

13:40

自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル事業について

① 豊田市の取組み 安藤 亨（豊田市福祉総合相談課主任主査）

② SDM-Japan の取組み 水島俊彦（SDM-Japan 副代表理事）

③ 日本財団の取組み 袖山啓子（日本財団公益事業部）

第2部（14:50～17:00）

14:50

実践報告（座談会形式）

コーディネーター 名川 勝（SDM-Japan 代表理事）

- ・ 本人／とよた意思決定フォロー
- ・ 生活基盤サービス事業者
- ・ 権利擁護支援委員会
- ・ 豊田市成年後見支援センター

15:30

パネルディスカッション

テーマ：本人が自分らしく生きていくために必要な意思決定支援の仕組みと実践とは？

～実践報告を踏まえた今後の展望～

コーディネーター 名川 勝（SDM-Japan 代表理事）

パネリスト 安藤 亨（豊田市福祉総合相談課主任主査）

木本光宜（特定非営利活動法人ユートピア若宮理事長）

熊田 均（熊田法律事務所弁護士）

袖山啓子（日本財団公益事業部）

水島俊彦（SDM-Japan 副代表理事）

16:50

閉会のあいさつ

吉倉和宏（日本財団常務理事）